

植民地下のアジア・太平洋地域の民族学・人類学的研究の基本文献を精選。

アジア・太平洋地域

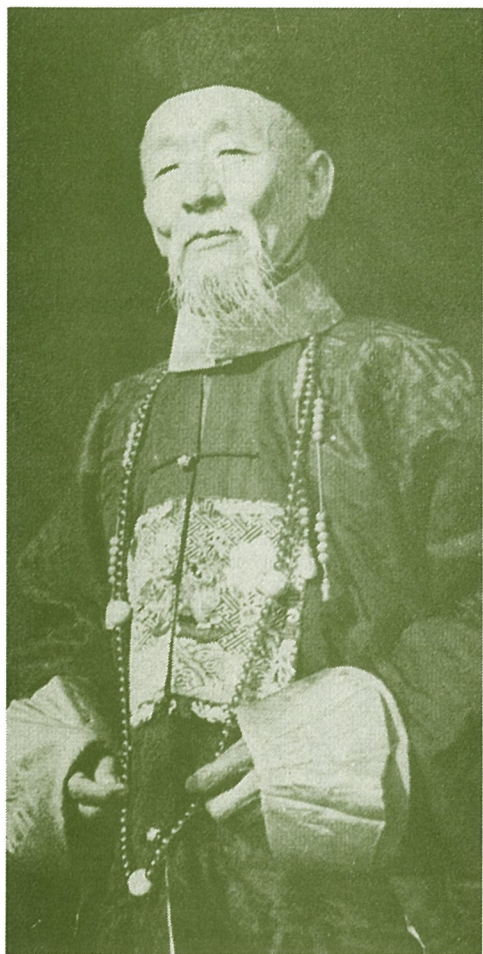
民族誌選集

第5回・全8巻

山下晋司・中生勝美・伊藤亞人・中村 淳編

クレス出版

〔全36巻完結〕



中生勝美

宮本常一は、戦前、柳田国男に勧められて民間伝承研究、つまり民俗学を志して上京したが、当時民俗研究が最も盛んであると言われた「満州国」に渡るうとしていた。しかし、渋沢敬三から、満州へ渡る前に日本を見ておくように勧められ、結局は宮本が「満州国」に渡ることはなかった。戦争が終わり、日本の傀儡政権「満州国」は崩壊し、戦前は「民俗学、民族学が最も盛んだ」と言われた満州、中国、内陸アジアの研究は、戦後忘却されてきた。今回のアジア・太平洋民族誌選集第五集では、「満州国」及び内陸アジアの蒙古、イスラムに関係する民族誌を選んできた。満州事変より敗戦までを「一五年戦争」と言われるように、傀儡政権「満州国」の建国から、日本はファシズムに突き進む時代となった。皮肉なことに、日本独自の民族学・民俗学が形成、成立するのは、この時期である。ある意味で、飛躍的な日本の海外膨張政策により、周辺地域の民俗に関する知識が必要になってきた時期であり、かつ、欧米でのフィールドワークによる研究の方法論が日本に紹介されて、その手法による異文化研究が進んだ時代であった。研究費の援助による周辺民族研究が懲罰され、南満州鉄道株式会社調査部や東亜研究所など国策機関でも、積極的に民族誌を作成した。

「五族協和」のスローガンは、多民族国家「満州国」の宿命であった。「東洋のバルカン」とも呼ばれた、当時の「満州国」は、異民族が交差し、一九三〇年代後半の中国内陸部へ日本軍が侵略を進める上で、「満州国」内部の民族研究は、そのまま蒙古、内陸アジアのイスラム（中国では「回教徒」）の調査研究に敷衍されていった。

今回の復刻では、満州民族学学会の会報や、その学会が出版した報告書、満州建国大学の報告書のような、当時の「満州国」で進められたフィールドワークの成果、国策機関の報告書だけでなく、そうした研究に触発された、現地に住み込んでいた素人の報告書も含まれている。この選書は、中国を中心とした独自の民族誌が多産された一部を復刻するが、これらは現在入手しにくく、所蔵が限られたものばかりである。これらの民族誌は、単に民族学、文化人類学の資料だけでなく、戦前の内陸アジアの情勢を理解するための歴史資料としても有用である点を強調しておきたい。

第五回全8巻内容

- 29 満州民族学会会報
 - 満州民族学会編／昭和18、19年
 - 満州国道院中字会の概要
 - 小竹一郎著／昭和18年
 - 黒田源次著／昭和18年
- 30 人口統計より見たる満州国の縁族複合状態
 - 宮川善造著／昭和15年
 - 満州事情案内所編／昭和15年
 - 満蒙民族志
 - 満鉄経済調査会編／昭和11年
- 31 満州宗教誌
 - 満鉄鉄道総局弘報課編／昭和15年
- 32 満洲風土記 上巻
 - 満洲日報社編／昭和19年
- 33 満洲風土記 中巻
 - 満洲日報社編／昭和19年
- 34 綏遠に於ける蒙古民族 ―生活と習俗―
 - 内藤潮邦著／昭和18年
 - 満洲に於ける鄂倫春族の研究
 - 治安部参謀司調査課編／昭和14年
 - ソロン族の社会
 - 上牧瀬三郎著／昭和15年
- 35 中支に於ける民間信仰の実情
 - 興亜院華中連絡部編／昭和17年
 - 北京回民小本借貸に就いて
 - 小林宗三郎著／昭和16年
 - 西北羊毛貿易と回教徒の役割
 - 幾志直方著／昭和15年
 - 満洲国の回教調査資料
 - 山本登著／昭和16年
- 36 北支那回教事情
 - 満鉄北支経済調査所／昭和15年

満洲に於ける鄂倫春族の研究 第一篇

治安部参謀司調査課

第一章 總説

第一節 人種學よりみた鄂倫春族

鄂倫春族は人種學上之をみればウラル・アルタイ人種（或は民族）の通古斯族に屬する。更に之を細く分類すれば通古斯族中のシベリヤ通古斯系（或は北方通古斯）に屬する（註三）

體質上固有滿洲族、朝鮮族、日本族等と共に通古斯系として蒙古族と區別され言語、風習の諸點よりウラル・アルタイ語系民族としてコンロン人種の漢民族と區別される（註一、二）

第二節 鄂倫春の名稱

通例鄂倫春なる名稱は養鹿者を意味する古代滿洲語の「オロンチョン」から出たと言はれてゐるが滿洲語には左様な語原はない。

既刊全28巻内容

- 1 南方文化講座 歴史篇
- 2 三省堂南方文化講座刊行係編／昭和18年
- 3 三省堂南方文化講座刊行係編／昭和19年
- 4 三省堂南方文化講座刊行係編／昭和19年
- 5 三省堂南方文化講座刊行係編／昭和19年
- 6 三省堂南方文化講座刊行係編／昭和19年
- 7 南方の芝居と音楽
 - 松原晩香著／昭和18年
 - 南方民族図譜
 - 厚生省研究所人工民族部編／昭和19年
- 8 大東亜民族誌
 - 東亜経済懇談会編／昭和19年
- 9 南方諸民族事情研究
 - 国策研究会著／昭和18年
- 10 太平洋民族誌
 - 松岡静雄著／大正14年
 - ミクロネシア民族誌
 - 松岡静雄著／昭和2年
- 11 インドネシアの民族医学
 - 清野謙次著／昭和18年
- 12 海南島黎族の社会組織
 - 岡田謙著／昭和19年
 - 海南島黎族の経済組織
 - 尾高邦雄著／昭和19年
 - 民族調査資料 第一輯（第五輯）
 - 海南島軍特務部政務局／昭和17年
- 13 マライシアに於ける稲米儀礼
 - 宇野円空著／昭和19年
- 14 第二回全8巻 揃定価一一〇、〇〇〇円
- 15 南国記
 - 竹越与三郎著／明治43年
 - 南洋風土記
 - 安藤喜一郎著／昭和8年
 - バタ族の社会と生活
 - 井上吉次郎著／昭和17年
 - ジャワ社会の研究
 - 松浦靖著／昭和19年
- 16 東印度の文化
 - 齊藤正雄著／昭和15年
- 17 比律賓民族誌
 - 三吉朋十著／昭和17年
 - 比律賓の宗教と文化
 - 三吉朋十著／昭和17年
- 18 比律賓の土俗
 - 三吉朋十著／昭和17年
 - 比律賓群島の民族と生活
 - 仲原善徳著／昭和17年
 - 南方民族の婚姻
 - 増田福太郎著／昭和17年
- 19 台湾の宗教
 - 増田福太郎著／昭和14年
 - 原始刑法の探求
 - 増田福太郎著／昭和19年
- 20 東亜民族要誌資料 第一輯（第四輯）
 - 帝国学士院東亜諸民族調査室編／昭和19年
 - 東亜民族名彙
 - 帝国学士院編／昭和19年
- 21 第三回全8巻 揃定価一〇八、〇〇〇円
- 22 蒙古地誌 総論、史略、地理
- 23 蒙古地誌 行政
- 24 蒙古地誌 殖産興業(1)
- 25 蒙古地誌 殖産興業(2)
- 26 蒙古地誌 運輸交通、宗教、教育、風俗
- 27 蒙古地誌 各旗通志、都邑概況、結論
- 28 柏原孝久・浜田純一共著／大正8年
- 29 第四回全6巻 揃定価一一四、〇〇〇円

アジア・太平洋地域 民族誌選集

山下晋司・中生勝美・伊藤亞人・中村 淳 編

A 5判/上製函入クロス装 第5回全8巻 揃定価90,000円(税別)

2002年9月刊 ISBN4-87733-130-1(セット)

●全5回36巻完結 揃定価502,000円(税別)

第1回配本全6巻 11~16 揃定価 80,000円(税別) ISBN4-87733-125-5(セット)

第2回配本全8巻 17~24 揃定価110,000円(税別) ISBN4-87733-126-3(セット)

第3回配本全8巻 25~32 揃定価108,000円(税別) ISBN4-87733-127-1(セット)

第4回配本全6巻 33~38 揃定価114,000円(税別) ISBN4-87733-129-8(セット)

クレス出版好評既刊書

朝鮮総督府施政年報

全30巻 朝鮮総督府編 広瀬順昭解説

明治39年韓国統監府が設置されて以来、明治43年の日韓併合をへて昭和16年版まで刊行された日本の朝鮮統治の年次報告書。行政、司法、治安、財政、金融、交通、産業、教育等各分野を網羅し、日本の朝鮮支配研究の基礎史料の一つである。

揃定価380,000円 ISBN4-906330-37-1,38-X,39-8,40-1

満洲誌草稿

全15巻 関東都督府陸軍經理部編 安富歩解説

明治39年より同44年に至る実地調査報告に基づく膨大かつ詳細な秘密資料。豊富な数量データを表や図で示し、図版や写真も多数収載。第一輯 一般誌全4巻、第二輯 満洲地方誌(奉天省、吉林省、黒龍江省)全7巻、第三輯 接壤地方誌全3巻、附録 全1巻

揃定価298,000円 ISBN4-87733-114-X(セット)

増補朝鮮総督府三十年史

全3巻 朝鮮総督府編

朝鮮総督府の施政を歴代総督毎に分けて詳細に記述し、日本の朝鮮支配四十年を通覧する第一級史料。「施政方針」「財政」「産業」と続く各項目は、当該時期の朝鮮統治を簡潔に物語り、日本の朝鮮植民地支配研究の辞書代わりにも利用できるレファレンス・ブック。

揃定価36,000円 ISBN4-87733-062-X

満州国現勢

全9巻 満州国通信社編 井村哲郎解説

建国から康德10年版まで刊行された、満州国に関する基本的な事項の変遷を調べるために有用な年鑑。満州国の特記すべき事績、中央行政統治機構の概説と主要官僚の略歴等を詳細に記述し、年表、主要統計も掲げている。満州国をめぐる内外情勢に関する解説もある。

揃定価250,000円 ISBN4-87733-100-X,101-8

朝鮮満蒙地誌叢書

全3巻 朝鮮及満州社編

大正7年に刊行された『朝鮮及満蒙叢書』を底本とする朝鮮・満州・シベリアの貴重文献。日本近代史、東アジア近代史研究必備書。

朝鮮地誌 定価26,000円 ISBN4-87733-081-X

満州地誌 定価16,000円 ISBN4-87733-082-8

西比利亞地誌 定価 8,000円 ISBN4-87733-083-6

日本帝国委任統治地域行政年報

全7巻 外務省編 等松春夫解説

1920年から38年まで日本政府が毎年国際連盟に提出した日本統治下の南洋群島の行政報告。行政のみならず法制、産業、交通、労働、教育、医療、軍事等のデータを収録し、戦間期の植民地支配の国際比較研究にも役立つ、南洋群島統治研究の基礎史料。

揃定価100,000円 ISBN4-87733-061-5

朝鮮近代史料研究

全9巻 財団法人友邦協会編 橋谷弘解説

朝鮮総督府高官らに植民地支配の実態を聞き、録音したテープの中から厳選して活字化した『友邦シリーズ』30冊を内容別に編纂。総督府の予算を編成した財務局長の水田直昌の朝鮮近代財政に関する事や、『朝鮮ノ小作慣行』の主任事務官であった塩田正洪などの収録。

揃定価200,000円 ISBN4-87733-120-4(セット)

南洋叢書

全5巻 満鉄東亜経済調査局編 原田勝正解説

第一次大戦後、とくに1930年代にはいり日本の資源獲得のために目標となった地域(蘭領東印度、佛領印度支那、英領マレー、シヤム、比律賓)の広範囲に及ぶ高度な資料集。経済・商業・貿易・交通・国際関係等の研究にも利用できる叢書。

揃定価70,000円 ISBN4-906330-36-3

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-5 メロナー日本橋
☎(03)3808-1821 ㊚(03)3808-1822 <http://www.kress-jp.com/>



株式会社クレス出版